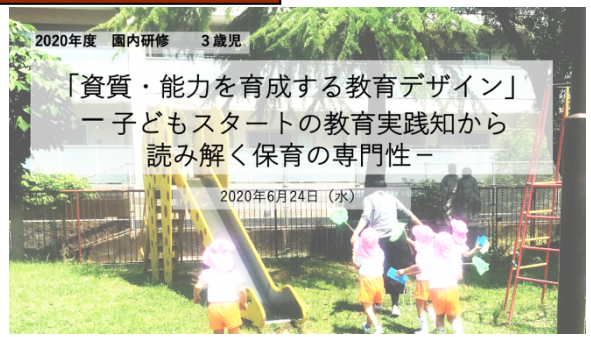
園内研修　３歳児

2020 年 6 月 24 日（水）



With コロナ下での保育について、一旦立ち止まり、
自分は何を大切にして保育をしてきたのか、
その時、子ども達は何を学び、どう育っていたのか、
子どもの姿から振り返り、言語化することで、
自分自身に気づいていく研修となりました。
次年度の学年別公開保育研修会につなげていきたいと思います。

１｜withコロナでも保障できる教育デザイン

問１　「閉じられたコーナー」の有効性
事例１｜「ようちえんってたのしかったんだね！」

問２　「閉じられたコーナー」で、遊びを創ることができるのか
事例２｜「トマトピザです」

問３　「子どもスタート」で考える
「遊びを創る」始まりと「開かれたコーナー」の必要性
事例３｜「がくえんまえは？」

研修の観点

１｜withコロナでも保障できる教育デザイン
■これまで言語化されていない保育の前提を問う
・関わるよう工夫された環境　と　関わりを避ける環境

２｜withコロナだからできる教育デザイン
－少人数保育－の振り返り
■６人という小集団での保育
－２０名以上の集団の当たり前を問う

２｜withコロナだからできる教育デザイン
－少人数保育－　の振り返り

問４　出会う人数が少ないことで、
子どもが刺激を受けて学びを深める機会も少なくなるのか
事例４｜「お引越しする」

問５　５人なのに「手が足りない」のはなぜ？
事例５｜３歳児　5人登園の一日

Ⅰ期・Ⅱ期で育てたい資質・能力の再構成

月/人数/登園日数	育てたい資質・能力
6月 ６人登園（3日）	《幼稚園の生活を知る》 《家との違いを知る》 《自分の安心できる場所や人、方法を見つける》
7月 １１人登園（5日） ２２人登園（8日）	《幼稚園で安心して過ごす》 《自分以外の人を感じる》 《いろいろな人や場所を知る》 《集団で過ごすことや人との関わり方を知る》
２学期以降	《幼稚園の行事や習慣を経験し、過ごし方が分かる》 《自分の気に入った遊びを楽しむ》 《初めてのことや新しい体験にも安心して取り組む》 《先生や学級の友達と一緒にいる楽しさを感じる》